



高田地区キャラクター
「たかたん」

高田町内会だより



3年目のコロナ禍の一年を振り返り



高田町内会会長
相沢一夫

新年明けましておめでとうございます。
昨年を振り返りますと、4月の年度スタートはコロナ感染状況も比較的落ち着いていました。7月に入り第7波の感染拡大により、盆踊り大会は直前で中止決定をしました。こうした中でも10月以後は感染状況も落ち着き、行事・イベント等も少しずつ規模縮小で行なわれるようになりました。
区のイベント等も3年振りに開催され、多くの方々が参加され賑わいました。コロナ禍も4年目に入り現在第8波の状況下ではありますが、世の中の動きも少しずつ以前のように戻りつつあると感じられます。
これからはいろいろな行事等、以前と同じとはいかないとしても、対策をしっかりとした上で少しずつ再開できると考えています。
やはり前を向いて人と人とのつながりの大切さを取り戻していかなくてはなりません。
皆様のより一層のご協力を、この一年よろしくお願い致します。

高田中学校防災拠点 防災訓練

令和4年11月6日(日)

秋晴れの穏やかな天気となり、約80名の方が参加されました。

冒頭の挨拶で高田消防出張所の天野所長より、阪神・淡路大震災の時、8割が家族に救助され、消防による救助は2割。自助の大切さを話されました。

・消火栓からの放水デモンストレーション

天沼自治会が持っているスタンドパイプ式初期消火器を持って来て頂き、消火栓からの放水訓練を行いました。

女性も積極的に参加され、勢いのある放水に歓声が上がりました。

・避難所プライバシーテントの設営

避難先でプライバシーを守ってくれるテントの設営を参加者全員で行ったのは初めてです。テントを広げるのは簡単ですが、下の写真のように、たたみ方に皆さん苦勞されていました。

インターネットなどで事前にイメージトレーニングをしておくと思いました。



避難者は避難先のお客ではないと言われます。自らが行動出来るよう訓練に参加する必要性を感じました。

班長会

令和4年10月24日(月) 午後7時

今年度初の班長会は、感染防止のため申し込み順、理事は役員・部長のみの少ない人数で開催しました。

講演は港北消防署高田消防出張所長の天野雅巳様を講師にお迎えして、地震時の火災・リチウムイオン電池火災等についてお話をいただきました。

- ◎ 地震は予知が難しいため、日頃から備えや感震ブレーカーの設置を検討しましょう。
- ◎ 地震が起きたら倒壊・焼失で住めない場合以外は在宅避難を考える。在宅避難であっても地域防災拠点でのトイレの使用や支援物資の供給が受けられます。
- ◎ 火災警報器の設置義務化から10年を経過しているので、本体や電池の取り換え時です。
- ◎ リチウムイオン電池の火災が多いです。充電時に熱のある物や、過充電に注意し、充電器・充電機は純正の物・PSEマークを確認しましょう。
- ◎ 電池の取り外せない小型家電は、燃やすごみの日に別の袋に入れて出して下さい。



第36回高田地区GG大会

令和4年11月19日(土)高田中学校々庭

抜けるような青い空、風も無く暖かい、小春日和の日に9チームが参加し3年ぶりのグラウンドゴルフ大会が開催された。



高田町内会からも、高田GG(Ground Golfの略)と高田パーク4(高田第4公園を練習拠点としている)の2チームが参加し、

高田GGが見事258打で優勝、高田パーク4が269打で準優勝を果たした。

個人賞も指定ホールのホールインワン賞こそ逃したものの男女共1位、2位を独占した。この2チームは港北区大会に、高田地区から優先して出場する権利を得た。



高田って どんどころ？ -34-

高田の絶景展望スポット

高田中学校グラウンドの南西角の交差点近くの高台から



高田は高台地域と低地地域があり、学校や病院など公共施設の利用にも階段や坂道を通ることが多いです。園児や小学生は平気で走り回ったりしていますが、年齢を重ねるに従い負担を感じます。一方この負担は健康増進にも役立っていると考えることもできます。

早淵川の土手道ではジョギングや散歩を楽しまれる方が沢山います。

高田小学校、中学校の廻りでは、四季折々の花や果実が目につくのどかさを感じられるところがあります。傾斜地では遠くまで見渡せる場所もあります。

高田研修所周辺からは左手にベイブリッジ、その右にランドマークタワー、プリンスホテル、日産スタジアムが望めます。さらに右手には箱根、丹沢、そして富士山を眺めることができます。

夜間は人通りが少なくお勧めできませんが、夜間も美しい夜景が展望出来ます。

丸山住宅から高田中央病院を見下ろせる場所や、高田中学校グラウンドの南西角の交差点を南に行ったところの高台からの風景もお勧めです。(M.S)

高田研修所近くの高台から



編集後記 本紙は、4人の編集者で高田町内会の活動内容、町内の出来事、歴史などの記事案を持ち寄って約1カ月の編集期間で作成しています。知らなかった事や、初めて聞くことも沢山有り、いつもワイワイと楽しい編集時間です。皆様からのご感想は、大変励みになっています。(S.F)